



2022年8月

JA 尾道総合病院 病院長：田妻 進
副院長・がんセンターボード運営会議長：花田 敬士
診療情報管理科 がん登録室

「おのみちがん登録ネット」発行にあたって

日頃から、がん診療にご協力いただきありがとうございます

『がん登録』とは、診断や治療、その結果など、がん患者に関する情報を収集して、整理、解析する仕組みです。

2007年にがん対策基本法が成立し、がん診療連携拠点病院の指定が開始され「院内がん登録」が始まりました。

2016年1月には、がん登録推進法が施行され、法のもとで全国を網羅する「全国がん登録」が開始されました。

当院では2007年からがん登録を開始し、現在登録件数は18,000件を超えています。

2020年症例は新型コロナウイルス感染の影響により1,362件と登録件数の低下がみられましたが、2021年症例は1,400件を超え過去最多の登録件数になる見込みです。

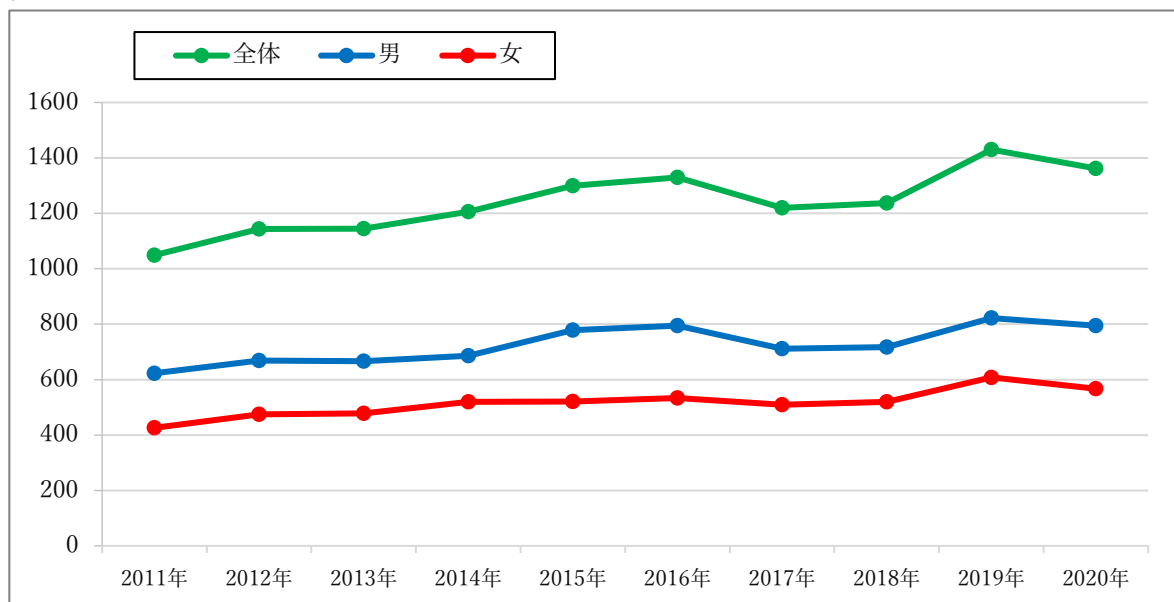
これは、がん診療に携わる先生方及びスタッフの皆様のご協力あってのことと感謝しております。

この度、当院のがん登録の内容を皆様に知っていただきたく「おのみちがん登録ネット」を発行することとなりました。

今回より隔月の予定で発行させていただきます。

よろしくお願いいたします。

◆ 当院の院内がん登録 登録件数(2011年～2020年)



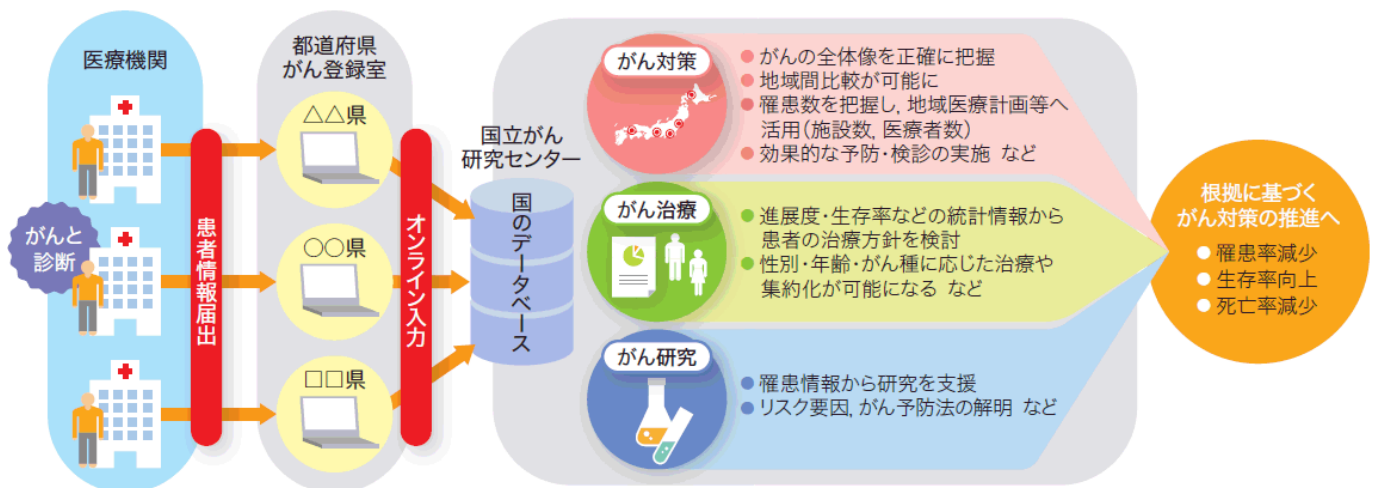
【 がん登録 】

「がん登録」とは、がん患者について診断、治療およびその後の転帰に関する情報を収集し、保管、整理、解析する仕組みです。

当院がん登録室では、「全国がん登録」と「院内がん登録」をおこなっています。

2016年1月より、これまでは都道府県による任意事業として行われてきた「地域がん登録」が、国が主体となって実施する「全国がん登録」へと集約されました。

- ・「全国がん登録（26項目）」は日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組みです。これにより全国の病院および指定診療所には、所在地の都道府県への届出義務が課され、集められたデータは、全国がん登録データベースにて一括管理され、がんの実態把握に必要な各種統計の整備に用いられ、がん対策・がん治療・がん研究に用いられています。



【出典】国立がん研究センター、がん情報サービスより

- ・「院内がん登録（約100項目）」とは、全国のがん診療連携拠点病院等をはじめとするがん診療病院で診断、治療されたすべての患者さんの「がん」について、罹患、診療、転帰等に関する詳細な情報を登録する仕組みです。登録情報は国立がん研究センターで収集され、国民・患者への情報提供やがん対策への反映に活用されています。

【 がん登録室（診療情報管理科） 】

2020年より院内がん登録中級認定者2名体制で登録をおこなっています。

- ・ 2018年から地域がん診療連携拠点病院の指定要件に院内がん登録中級認定者の配置が義務付けられました。
- ・ がん診療連携拠点病院の指定は、DPC機能評価係数IIの中の地域医療係数の評価項目の一つとなっています。

【院内がん登録の登録対象について】

- ・当院ではじめて「がん」を診断または治療した症例です。
がん登録でいう診断には、病理学的な確定診断をのみならず、画像診断、血液検査、尿検査、肉眼的診断、および臨床診断などによる診断も含まれます。
- ・他院で「がん」の治療を受けた後、当院で経過観察または治療をした場合も登録対象です。
- ・頭蓋内に原発した脳腫瘍と髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍に関しては、原則的に良性であっても、登録対象です。
※ その他腫瘍の性質等によってがん登録特有のルールがあります。

【登録の方法】

- 平成 28（2016）年 1 月 1 日以降の新規診断症例の登録からは 1 腫瘍 1 登録となるように登録。
- 2020 年症例からは、国際疾病分類-腫瘍学（ICD-O3.2）International Classification of Diseases for Oncology に準拠して登録。



ICD-O

ICD-10

ICD と ICD-O

〈ICD とは〉

* 腫瘍に限らず 全ての疾病、傷害、死因の分類

〈ICD-O とは〉

* 腫瘍（新生物）のためにつくられた分類
(ICD の関連分類)

* 腫瘍の局在(部位)と形態診断(病理組織診断)の
組み合わせで用いる

【 ICD-O-3 】

- 2000 年 WHO が改訂 〈Revision〉
(2003 年に日本語版出版)
- 2012 年 WHO が改正 〈Update〉
(2014 年に日本語版 (2012 年改正版) を出版)
- 2016 年 WHO が改正 (第 3.1 版)
(2018 年に日本語版 (第 3.1 版) を出版)
- 2019 年 IARC が改正 (第 3.2 版)
※院内がん登録では第 3.2 版を 2020 年症例から適用

《 ICD-O のバージョンが変わると？ 》

形態コードや性状コード・分化度などが変わるものがあります。

例として (ICD-O3.1 から ICD-O3.2 に変更になり変わったこと：変更点より一部抜粋)

- ◇ GIST (消化管間質腫瘍) は ICD-O-3.2 版 (2020 年から採用) では、性状コード /0, /1 が廃止され、/3 のみに変更
- ◇ 胸腺腫, 褐色細胞腫/傍神経節腫, 神経内分泌腫瘍の下記のコードは「/0」「/1」が廃止され、「/3」のみに変更
 - 胸腺腫 (8580)
 - 褐色細胞腫 (8700)
 - 傍神経節腫 (8680, 8681, 8682, 8690, 8691, 8692, 8693)
 - 神経内分泌腫瘍 (8150, 8151, 8152, 8153, 8155, 8156, 8158, 8240, 8242, 8249) など…

次回は“胃がん”についてです。